

## 横田の空兵、午餐会でマーティン・ルーサー・キング牧師の功績を称える *Yokota Airmen honor Dr. Martin Luther King Jr. during luncheon*

January 19, 2024

By Staff Sgt. Spencer Tobler  
374th Airlift Wing Public Affairs

第374空輸航空団は1月16日、横田基地でマーティン・ルーサー・キング牧師の生涯と遺産を称える午餐会を開いた。この午餐会で、第374空輸航空団のメンバーは、キング牧師の公民権運動における貢献と、自由、平等、包摂の取り組みについて学んだ。

1994年、米国議会は1月の第3月曜日を「キング牧師の日 (MLKデー)」とする「キング牧師記念日と奉仕活動法」を制定した。毎年この日に国防総省は国民とともに国家の原則を振り返ることとしている。午餐会は、第374空輸航空団司令官アンドリュー・ラダン大佐の開会の言葉から始まった。

「今日、我々は非暴力差別抵抗活動を主導した人物の功績を称える。(キング牧師は)正しい手段で正しい行動をとった。多様性と包摂性を受け入れることは、我々、空軍、そして横田のコミュニティーにとっても重要である」

午餐会の出席者は、キング牧師の生涯についてのビデオを鑑賞し、軍における多様性と包摂の重要性について話し合った。そして最後に、キング牧師の運動の目的をどうミッションの即応性と有効性に活かせるかについて参加者同士で意見を交わした。

「こうした特別な記念行事を行うことは常に大事だ。仲間の中にさまざまなコミュニティーがあることを認識できる。一堂に会し、アメリカの英雄と我々の軍について理解を深めるよい機会となる」と第374空輸航空団多様・包摂・アクセシビリティ(DEIA)部 部長キャンディス・トリッグ曹長は語った。

